

きょうと健康スタイル

VOLUME 7

健(検)診を 体メンテナンスの機会に

きょうと健康スタイル

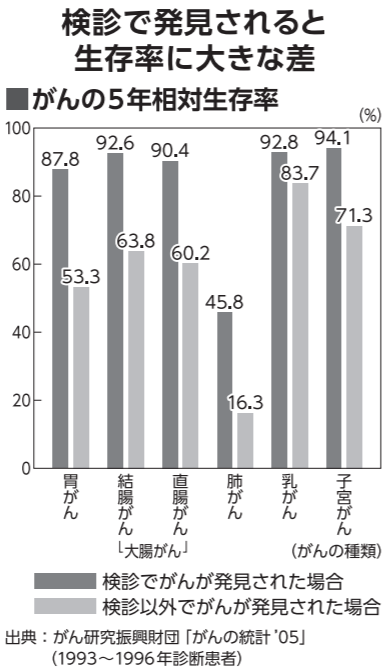
市町村や職場から健診のお知らせが届く時期です。皆さん、申し込みをされましたか？

特定健診・特定保健指導(いわゆるメタボ健診)は、40〜74歳の方全員を対象とする大規模な一次予防(生活習慣病予防)を行うものです。このような仕組みは世界に例のない先駆的な取り組みのため、各国のマスメディア・政府関係者から注目を受けていますが、現状はどうでしょうか。

受診率をみると、全国では47・6%、京都府は43・6%です。医療保険者別にみると、市町村国保が34・2%なのに対し、共済組合は73・7%と差が大きく、職場に検診車が来たり、受診への声掛けがある場合と、個人に任されている場合の違いが出ています。市町村国保の方もせっかくの機会、これからの人生を楽しむためにも健診の申し込みをお忘れなく。(厚生労働省ホームページ2013年結果)

もう一つ大切な検診は、働き盛りの方の死因の多くを占めるがん検診です。まず受診率ですが、胃がん・肺がん・乳がん検診は約35〜38%、子宮がん検診は約28%といずれも高い状況とは言えません。(2015年京都府がん検診受診率調査報告書)

がん検診を受けない理由に、「症状がないから」と答える方がいますが、それは大変危険です。症状が出ている場合、進行していることが推測されます。治療は進歩しています。いかに早期に発見し、早期治療に結び付けるかが大切です。図は検診でがんが発見された場合と、そうでない場合の生存率を比較したものです。もちろん、がんの種類や個人によって進行速度は異なりますが、多くは早期発見することでの治療効果が高いといえます。



がん治療の効果を表す指標として、がんの5年生存率に加えて、この1月に初めて10年生存率が公表(国立がん研究センター)されました。乳がん80・4%、子宮頸がん73・6%、大腸がん69・8%などで、この数値がさらなる医療の進歩により、高くなることを期待したいものです。

健康で過ごせることは自分のために、そして家族や職場の同僚のためにも大切なことです。健(検)診をうまく活用して体メンテナンスの機会にしましょう。

健(検)診情報は、各市町村や全国健康保険協会京都支部のホームページをご覧ください。

京都府健康福祉部健康対策課

京都市上京区下立売通新町西入藪ノ内町 TEL 075・414・4724